

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 700107	心の電話相談事業				主管課名	子育て支援			
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	増岡 総一郎			
		施策	地域で青少年を支えるまち								
		基本事業	青少年の健全育成								
	(1)事業の概要										
	少子化、核家族化が進行する社会経済構造の下、携帯電話や情報端末等が青少年にも普及しているが、それらの電子機器は必ずしも青少年の悩みを解決したり、正しい方向へ導いてくれるものではないことから、青少年やその保護者の悩みを少しでも解消するため、心の電話相談員が電話によるカウンセリングを行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単 位		
							相談日開設日数		日		
							その指標				
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		電話相談：毎週土曜日（祝日及び年末年始を除く）の正午から午後4時まで。 相談員：5人。ローテーションで各回1人で実施。 相談員の全体会議（年4回、3か月に1回）及び研修等の実施。								
26年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容							
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
20歳未満の青少年 みよし市民						名 称		単 位			
						20歳までの人口		人			
						市内世帯数		世帯			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
青少年・保護者の悩みが相談により軽減、解消されるようにする						名 称		単 位			
						相談件数		件			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
心身ともに健全に成長してもらう						名 称		単 位			
						青少年補導員の定期巡回箇所数		箇所			
						子ども会加入率		%			
						成人式への出席率		%			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		日	50	50	50	50	50	50			
(6)の対象指標		人	15,193	15,124	15,200	15,250	15,300	15,350			
		世帯	6,500	22,299	22,350	22,400	22,450	22,500			
(7)の成果指標		件	62	76	76	76	76	76			
(8)の結果の成果指標		箇所	89	146	146	146	146	146			
		%	82	84	84	84	84	84			
		%	80.3	78.7	83	83	83	83			
(10)予算費目	会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	02
(11)コスト	年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)	単位	457	470	565	550	550	550				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	457	470	565	550	550	550			
人件費B	千円	566	112	112	112	112	112				
正職員従事時間×人数	時間×人	75×2	15×2	15×2	15×2	15×2	15×2				
正職員以外の人件費	千円										
その他費用C	千円	82									
トータルコストA+B+C	千円	1,105	582	677	662	662	662				
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/人	0	0	0	0	0	0				
	千円/世帯	0	0	0	0	0	0				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	700107心の電話相談事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	昭和57年度			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？					
青少年及び保護者等の悩みを少しでも解消する。						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない			変化した内容			
変化している			青少年を取り巻く環境が複雑化している。			

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する みよし市心の電話相談員設置要綱
				この事務を行う根拠又は理由	青少年の非行を未然に防いだり、家庭内での青少年・保護者の悩みを解消する。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
		結びつかない	→		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
		できない	→		
			拡大		
			縮小		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
	できない	→			
		追加			
		拡充			
		絞込み			
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
	多少影響がある	→			
	影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	心の電話相談事業の対象者へ周知をする。	
	できない	→			
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	→	類似事業名	小中学校は学校相談員、スクールカウンセラー等を配置。	
	ない	→	類似事業との再編の可能性	ある → 内容 電話相談特有の匿名性、相談の信憑性	
		庁内事業			
		庁外事業			
(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
	ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
	ない	→			
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
	ない	→			
		現状で適正			
		検討が必要			
		受益者がいない			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						